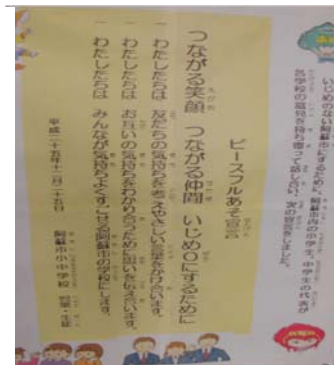


外 輪

H27.12.17(木) 発行 文責:上田

ピースフルあそび書



“ありがとうの木” 運営委員会の取組

本校では11月に2学期の人権旬間を設定し、生活アンケートと個別面談を実施しました。また、人権旬間にあわせ児童会の運営委員会で“ありがとうの木”の取組が行われました。

付箋には、「いつもサッカーをいっしょにしてくれてありがとう」「じきゅうそう大会のとき、わたしがきついときにはげましてくれてありがとう」「いつもやさしくしてくれてありがとう」等々、子どもたち同士の感謝の気持ちが記されています。“ありがとうの木”にたくさんの実が実っていて、一枚一枚を読むと、しだいに温かい気持ちがこみ上げてきます。

さて、11月の収穫祭の家庭教育講話で、「あなたと私」というお話を聞かれた方もおいでかと思えます。私たちはとかく自分本位に考えてしまいがちですが「あなた」を先に考えてみるのが大切だという、金子みすゞの詩を取り上げての講話でした。

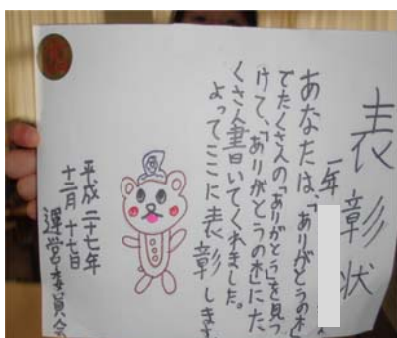
今回の運営委員会の“ありがとうの木”の取組は、「あなた」のことを考え、「あなた」に支えられている自分に気づく取組だと言えます。



ありがとうの木

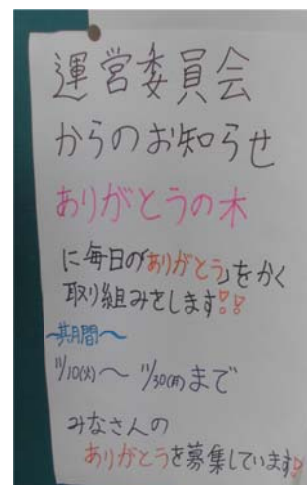
17日(木)の児童集会では、運営委員会から“ありがとうの木”にたくさん記入してくれた子への表彰がありました。ありがとうのメッセージが全校に広がることに寄与してくれたことに対する表彰です。運営委員会の手作りの表彰状はとってまで(左写真)、表彰状を受け取った子たちも誇らしげでした。

“ありがとうの木”を企画してくれた運営委員会の子どもたちに感謝です。



運営委員会の手作り表彰状

私たち学校の教職員は、日頃より、子どもたち一人一人の声に向き合うよう努めています。まずは、学校に子どもさんのことをご相談がありましたらご連絡ください。運営委員会のように、学校は積極的に互いが感謝し合う、つながり合う人間関係づくりを、今後も進めていきたいと考えています。



運営委員会のお知らせ

※ 本日配付の「子ども人権 SOS ミニレター」は、子どもの人権について考えることにも役立てください。